

企業が伸びる、個性ある地域社会創造のために、今、何が必要か。何をすべきか。

地方のICT戦略 [51]

Information and Communication Technology

雪国魚沼で冬のライフラインを守る除雪車。その特殊な整備を受注して事業を拡大してきた同社は、ICTを活用してサービスの向上、作業効率化を図るとともに、国土交通省の自動車車検システム電子化に向けて社内環境の整備を進めている。

日本有数の豪雪地帯

魚沼の除雪とともに歩んできた

Interview
有限会社 小出自動車工業
代表取締役社長
岡部 誠さん



「除雪車を年間180台も整備されていますが、そこに至るまでどのような歴史があったのですか
私たちの会社は雪深い魚沼にあります。昭和25年（1950）創業で、13年後に法人化しました。最初はJR小出駅前であり、従業員も2〜3人の小さな工場でした。まだ除雪車も普及しておらず、冬になると地域の車は車庫に入ったままで、スキー場の機械整備などしか仕事がありませんでした。それが昭和40〜50年にかけて除雪車が登場。国道17号の開通によって地域でも除雪の必要性が高まり、当時

の建設省から除雪車修理の仕事をいただくようになりまし。時代とともに一般道路の除雪が当たり前になり、除雪車が増えるにつれて自社の事業も拡大。昭和48年（1973）には湯沢にも営業所をつくりまし。削減できました。また、言葉だけでは認識できないこともよく理解できるようになり、ミスや忘れが格段に減りました。部品の発注もネットでメーカーとやりとりし、特殊なものも画像で「この部品」と見せています。取引先様にとつても快適になりました。従来の紙ベースからメールのデータになったので、修理箇所をすぐに画像で確認できる。除雪車には受入検査、中間検査などの段階があり、リフトで上げないとわからない車体下や見えない内部の写真をその都度送って「こういう状態です」とお知らせできる。ライトの球切れなど軽微な作業は撮影して先に進めることもあります。経営面からいえば、現在は除雪車のほか乗用車4000台、大型自動車1000台を1年間に整備していますが、全体の在庫状況や作業工程、車検時期などを簡単に把握できるので管理がしやすくなりました。



ロータリー除雪車/豪雪地帯の魚沼では、神業を持つ作業員が多い。

「現在は「VPNワイド（ファイル共有）」を活用されていますね
昔とはまったく変わりましたね。最初は、営業所間のやりとりは外線通話。NTTさんに相談して内線通話にしましたが、やはり音声だけでは困る。大量の映像はメール時代を迎えても容量が大きすぎて送れず、結局はプリントアウトした紙やUSBに入れたデータを人間が運んでいました。そこでNTTさんが「本社にファイルサーバーを置いて情報を入れ、全営業所でデータを共有したらどうか」と提案してくれました。これによりモニターの映像を見ながら電話でのやりとりが可能になりました。業務においては、タイムリーな情報共有によって効率化が図れ、トータルで社員2人分の労力が

「おまかせサイバーみまもり」でセキュリティも強化されていますね
導入のきっかけはNTT長岡支店長の講話に参加したことです。データを扱うようになってから毎日来る迷惑メール類に不安を感じつつも、どんな被害があり、どう対策を講じたらよいかわかりませんでした。自社の担当者からもセキュリティ被害もたらす業務支障や取引先様への信頼失墜などを説明してもらい、すぐに決意しました。電子化やインターネットでのやりとりは、便利の裏に危険もある。その対策をしつつ、柔軟に便利な部分を取り入れていくことが重要だと感じました。導入してからは自社のみならず取引先様にも安全なネットワークが提供できるようになり、とても満足しています。私たちは「地域のライフラインを守る」という意識でやっています。除雪車は夜中の2〜4時から動いて、朝の通勤時間までに道をきれいにする。エンジンがかからない、チェックランプが点灯しているなど、出発

社員数38名の会社において2人分の労力を削減

「おまかせサイバーみまもり」でセキュリティも強化されていますね
導入のきっかけはNTT長岡支店長の講話に参加したことです。データを扱うようになってから毎日来る迷惑メール類に不安を感じつつも、どんな被害があり、どう対策を講じたらよいかわかりませんでした。自社の担当者からもセキュリティ被害もたらす業務支障や取引先様への信頼失墜などを説明してもらい、すぐに決意しました。電子化やインターネットでのやりとりは、便利の裏に危険もある。その対策をしつつ、柔軟に便利な部分を取り入れていくことが重要だと感じました。導入してからは自社のみならず取引先様にも安全なネットワークが提供できるようになり、とても満足しています。私たちは「地域のライフラインを守る」という意識でやっています。除雪車は夜中の2〜4時から動いて、朝の通勤時間までに道をきれいにする。エンジンがかからない、チェックランプが点灯しているなど、出発

便利と危険は表裏体 セキュリティ強化でリスクヘッジ

「今後の抱負をおしえてください
国土交通省の電子化具合にもよりますが、まずは車検の電子化を進めたいです。現在は一部がそうっており、あと3〜4年で車検証もICカードになるでしょう。実現すれば車検取得のために、自社の社員も往復1時間かかる長岡まで行かなくて済みます。それと、タブレットを全社員が持ち、いつでもどこでもデータ共有を可能にすること。社外でも仕事ができれば、もっとタイムリーな対応ができ、効率もよくなって無駄な残業も減るでしょう。しかし、便利になるほどセキュリティへの配慮が必要ですね。車の自動運転もそうですが除雪車のオペレーションも自動化が進み、今後はさらに難しい整備になります。メーカーともビデオ通話などで情報共有しながら作業品質を高めていきたいですね。



専門的な知識やスキルが必要な除雪車の整備。「仕事のおもしろさ、やりがいをアピールして、業界に入ってくる若い人を増やしたい」と岡部社長。

Profile
○有限会社 小出自動車工業
事業内容 新車・中古車販売、車検整備、福祉車
両等レンタル、ロータスクラブ・オリックスマイカーリース加盟店
本社 魚沼市井口新田1013番地1
営業所 佐製店、南魚沼営業所、湯沢営業所
TEL 025-792-11025 (代)
URL http://koide-cars.com